



第4回 放射線生物学セミナー

会 期 平成26年1月25日(土)

主 催 日本放射線腫瘍学会教育委員会
日本放射線腫瘍学会生物部会

会 場 関西医科大学附属枚方病院13階講堂

募集人員 130名(定員になり次第終了)

募集期間 平成25年10月10日(木) 12:00~

参加費 事前登録：会員(JASTRO会員) 10,000円 非会員 12,000円
当日登録：会員(JASTRO会員) 12,000円 非会員 14,000円
※事前登録で定員数に達した場合は、「当日登録」は行いません。

応募方法 日本放射線腫瘍学会HPより登録

こちらより登録して下さい。

<http://www.jastro.or.jp>

※応募者に仮受付メールが送信されます。
※応募が募集人員に達した時点で締切ります。

問い合わせ先

放射線生物学セミナー運営事務局
(有)クァンタム

E-mail:info@quantum-inc.jp

FAX:03-5684-1650

世話人 播磨洋子
(関西医科大学附属滝井病院放射線科)

第4回プログラム 司会：播磨洋子(関西医科大学)

時間	種別	科目	キーワード	トピックス	講師(所属)
9:55 ~ 10:00		開会の挨拶：平田秀紀(日本放射線腫瘍学会教育委員会委員長・九州大学)			
10:00 ~ 10:45	総論 (基礎)	放射線生物学概論	正常組織反応、LET、RBE、分割・線量率効果、LQモデル	$^{10}\text{B}(n, \alpha)^7\text{Li}$ 反応と正常組織反応の間	小野公二(京都大学)
10:45 ~ 11:30		分子生物学的実験法	発現ベクター、ノックダウン、qRT-PCR、ウェスタンブロットング、DNA損傷フォーカス	融合がん遺伝子、ドライバー変異	原田浩(京都大学)
11:30 ~ 11:40	各論	休憩(10分)			
11:40 ~ 12:25		放射線によるがん細胞死	増殖死、間期死、ネクロシス、アポトーシス、オートファジー	免疫原性細胞死	高橋昭久(群馬大学)
12:25 ~ 13:30		昼食(約1時間)			
13:30 ~ 14:15		放射線によるシグナル伝達の修飾	DNA損傷認識、細胞周期チェックポイント、生存シグナル、細胞死シグナル、適応応答シグナル、バイスタンダーシグナル	核内EGFR、mTOR、Nitric oxide(NO)	松本英樹(福井大学)
14:15 ~ 15:00		放射線DNA損傷と修復	DNA二重鎖切断、放射線誘発核内ドメイン、ヒストン修飾、クロマチン再構成、相同組換え修復	細胞核高次構造	田代聡(広島大学)
15:00 ~ 15:10		休憩(10分)部会			
15:10 ~ 15:55		放射線感受性を修飾する内因性および外因性因子	腫瘍内微小環境、放射線照射様式、4(5)R、併用治療	低酸素、癌幹細胞、不均一性	増永慎一郎(京都大学)
15:55 ~ 16:40	総論 (臨床)	放射線治療医からみた放射線生物学	放射線治療効果予測、放射線治療効果増強	テラーメイド治療	小川和彦(大阪大学)
16:40 ~ 16:50		関連学会の紹介			
16:50 ~ 16:55		閉会の挨拶：近藤隆(日本放射線腫瘍学会・生物部会会長・富山大学)			